経緯

この度、陸前高田市は、「陸前高田市ユニバーサル就労センター」を同市が進める「ノーマライゼーションという言葉の

いらないまちづくり」の一環として、平成31年1月15日に開所します。

「陸前高田市ユニバーサル就労センター」は、「働きづらさを抱えているすべての人」に対し、社会との関係性を回復し、その人なりの働き方を実現することを支援します。支援にあたっては、当事者だけでなく、雇用する側の事業所への雇用支援、**中間的就労※１**導入支援なども行い、双方ともに安心して働くことのできる環境づくりを行います。

　相談は、電話、メール、ファックス、来所等で対応し、2人の支援員が常勤。就労にそなえたプログラムの実施、地域資源や具体的な就労先の開拓と中間的就労の導入支援のみならず、各種就労支援機関との積極的な連携、適切な専門機関への「確実なつなぎ」も行い、働きたい意思のある市民や陸前高田で働きたいと思っている近隣にお住まいの方が、一人も取り残されないことを目指します。

　当事業は、同市のもと、**一般社団法人ソーシャルビジネス・ネットワーク※２**が、平成29年度より、**地方創生推進交付金事業「『ユニバーサル・タウン陸前高田』創造事業」※３**の一環で、先進的な事業の実績を持つ**外部専門家※４**の協力を得ながら準備を進め、この度開所に至りました。運営は、**公益財団法人共生地域創造財団※５**が担当します。

**※１中間的就労**

　　　説明入る（後日）

**※２一般社団法人ソーシャルビジネス・ネットワーク**

（東京都港区／代表理事：藤田和芳（オイシックス・ラ・大地株式会社 代表取締役会長））

ソーシャルビジネスによる新しい社会づくりのため、社会的企業の立場で同じ志を持つ団体や個人が知恵を結集し、つながり、力を合わせていく“日本初”で“日本発”による経済団体。

陸前高田では2011年6月から、起業支援事業やインターンシプ事業、今泉地域のまちづくり等の活動を行う。現在、「ノーマライゼーションという言葉のいらないまちづくり」具現化に向け、誰もが当たり前に働き暮らせるまち「『ユニバーサル・タウン陸前高田』創造事業」を市とともに推進中。

**※３地方創生推進交付金事業「『ユニバーサル・タウン陸前高田』創造事業」**

平成29年度から陸前高田市が進める事業。震災後の陸前高田のまちづくりの方向性として掲げられている「ノーマライゼーションという言葉のいらないまちづくり」を具現化する施策として、障がい者や高齢者など、誰もが当たり前に働き暮らせるまちを実現しようと進めている。その中で特に注力しているのが、誰もが自分らしく生きるための就労支援センター設立と、さまざまな方にとって働きやすい環境を生み出す就労の受け皿づくりとしての「発酵の里（仮称）」プロジェクト

（２０２１年開業予定）であり、前者がこの度開設された。

**※４外部専門家**

ＮＰＯ法人ユニバーサル就労ネットワークちば

　　　（説明入る　鈴木さん）

イマジネーション株式会社

　（説明入る　髙橋さん）

**※５公益財団法人共生地域創造財団**

　説明入る（石井さんから頂く）

以上